

令和6年度 3学期終業式（中学卒業式）式辞

まずは、中学3年生155名の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、小学生の雰囲気漂浮ながら本校に入学して以来3年が経過し、様々な経験も重ね、多くのことを学び、成長してきました。そして、今日、中学卒業という節目を迎えました。何が節目か・・・無事、義務教育を終えたということ。家に帰ったら、家族の方に「15年間の心からの感謝の気持ち」を君たちなりの言葉で必ず伝えるようにしなさい。

さて、本日、第3学期の終業式を迎えました。今年度の学びを修了したことを認める日でもあります。今一度、この一年を振り返り、それぞれの学年に応じて、学力や心が成長できたか確認してみてください。

確認のために少し質問をします。心のなかで「はい・いいえ」で応えてください。

- ・1年をとおして、規則正しい生活ができたとは言えない。
- ・自分にとって良くないとわかっているにもかかわらず、楽しければやってしまう。
- ・その場にふさわしくない発言をしてしまったことがある。
- ・深く考えずに、つい行動してしまう。
- ・学校から出された課題を期限を守って提出できなかった。

「はい」と応えた数が多いほど、自己をコントロールする力が低く、すべて「いいえ」だった人は「自己コントロール力」が高いといえます。大事なものは自己をコントロールできない要因は何か、自分自身でこれを見つけ出さないと、なかなか前向きな成長が期待できません。

もう少し質問します。これも心のなかで「はい・いいえ」で応えてください。

- ・学習習慣が確実に身につけていると評価できますか？
- ・授業中話を聞きながら、ちゃんと理解できているか自分で確認していますか？
- ・自分の理解が適切かどうか、チェックできていますか？
- ・どうすれば理解しやすいか、覚えやすいか考えて工夫していますか？
- ・授業中わからないことがあれば、先生や友達などに質問して、理解するようにしていますか？

これらの質問は、自分の学習状況について、わかったつもりになっていないか、客観的に自己評価できる力が身につけているかどうかの質問でした。「は

い」と応えた数が多いほど「自己客観視力」が身についてきているといえます。

先ほどの、「自己コントロール力」や「自己客観視力」は、学業成績や学習効果の向上に大きく影響する力だと言われています。

一年を振り返り、次につなげる目安にしてもらえればと思います。

さて、まもなく春を迎えるというのに今日は肌寒い朝となりました。皆さんは春の訪れを何で感じますか。

「春は選抜から」と言われるように選抜高校野球開幕という人もいるでしょう。桜の開花という人、スギ花粉という人もいるかも知れません。

君らも知っているとおりに、昨日からアメリカ大リーグMLBが開幕し、ドジャース 対 カブス の東京シリーズ2試合が行われています。MLBの開幕戦が日本で行われるのは、大リーグの市場拡大とねらいがあります。それはともかくとしても、それぞれのチームの主力メンバーに5人の日本人が所属しており、誇らしいことです。

大谷選手を代表として、彼ら日本人選手は「常に自分にとっての高い理想像を鮮明に描きながら、今の自分の現実と比較して、そのギャップを埋めるために行動し、その行動の過程で自らを進化」させています。

このことは大リーグの選手だけに限ったことではなく、自己成長、自己実現を願う誰にでも当てはまることです。

これから話すことを自分事として考えてください。君たち自身の将来の理想像は何ですか。ありますか。

①大事なことは「明確で高い目標」をもつこと。

どうなりたいかを考えるとき、最初から無理だと思っていては高い理想を描くことはできません。できないと決めつけることは避けるべきです。

②次に理想が高ければ高いほど、今の自分に足りないものは何かを見つけ出す作業が必要。

そのためには「客観的な自己評価力・分析力」を鍛えておかなければなりません。

③そして、足りないことが分かれば、それを補うしかありません。しかも、補う行動を持続させるためのモチベーションも必要となります。

・モチベーションは他者から与えられたり、強いられたりするものではなく、自分の内面から自然発生的にわき上がる「内面的モチベーション」こそが重要です。

君たちが成長したい、伸びたいと思って何か行動を起こすときの内面的な動機、モチベーションは何か・・・イメージしてみてください。

大谷選手は、自分史上最高に出会いたいという気持ちがモチベーションとなり、理想を夢見ながら、日々こつこつと練習を繰り返し、この繰り返しを習慣化させているそうです。つまり、小さな習慣を自分を大きく育てることにつなげているのです。

- ・ 足りない部分を補うためにもう一つ必要なことは、最初に話をした「自己コントロール力」です。この「自己コントロール力」と「内面的モチベーション」は相関関係にあって、「内面的モチベーション」がしっかりとしている人は「自己コントロール力」も高く、安易に楽な方に流されることはありません。

私はプロ野球開幕を待ち遠しく思っています。今年の秋にシーズンが終わり、自習練習、キャンプ、オープン戦を経て、開幕は3月28日です。

本校のシーズンの開幕は、4月4日の始業式からになります。3月7日に学年末考査が終わり、4月4日までの約1ヶ月間は、来シーズンに向けての準備期間です。そんな意識をもっていますか。いい準備ができていますか。

ある球団の監督が、キャンプ中に「気づき」の大切さについて語っていました。「最近の若い選手は、そこら辺にボールが落ちていても拾わない。踏んで捻挫するんじゃないかという気づきもない。そうした小さいことから気づいてもらいたい。気づきが多いほど、人として成長し、技術も向上する」と。まさにそのとおりです。

皆さんは普段の学校生活のなかで、いろんなことに気づけていますか。先日、生徒会から出された「矢田山郵便2号」読みましたか。「ごみはごみ箱に」「その言葉大丈夫？」という記事を載せてくれていました。小さな気づきの大切さを気づかせてくれるいい内容でした。

どうか、君たち自身が4月4日の開幕（始業式）をいい状態で迎えられるよう、2週間あまりの期間しかありませんが、くれぐれも事故、事件に巻き込まれないよう「自己コントロール力」を発揮して、充実した時間を過ごすよう期待して、私の話を終わります。

以上